

TLS2200プリンター付属品

バッテリー充電器	TLS2200-BCINTL-100
バッテリーパック	TLS2200-BP
携帯用ハードケース	TLS2200-HC
通信ケーブル	TLS2200-CABLE
クリーニングキット(クリーニングカード5枚)	POK-5
ユーザーズマニュアル	取扱説明書
*テスト用リボン(R6010)	テスト用
*テスト用ラベル(PTL-19-423)	テスト用

TLS2200オプションアクセサリ

ACアダプター	TLS200-AC
ダストカバー	TLS2200-DC
携帯用ソフトケース	TLS200-SC

ライセンス契約の内容をご確認ください。契約内容に同意できない場合には、直ちにこのパッケージを返送し、返金を受けてください。

ライセンス契約

Brady USA 社 (以下「BRADY」と称す) は、次の条件に従ってソフトウェアと付属の文書を使用するための、非独占的、譲渡不可能なライセンスを付与します:

1. ライセンスの制限条件: 禁止事項は下記のとおり。
 - 1) 追加のライセンスを取得することなく、ネットワーク上でソフトウェアを送信しないこと。
 - 2) ソフトウェアまたは付属の文書、あるいはコピー(バックアップコピー1枚以外)を変更、適用、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、派生的制作をしないこと。
 - 3) BRADY による書面による事前の同意なしに、または付属の文書に関するいかなる権利も、賃貸、譲渡、認可しないこと。
 - 4) ソフトウェアと付属の文書上の所有権の表示、ラベル、あるいはマークを削除しないこと。

2. 本契約の本文: このライセンスは販売を目的とするものではありません。ソフトウェア、付属の文書とそのコピーの所有権と複写権は BRADY に帰属します。ソフトウェアまたは付属の文書を許可なくコピーした場合、あるいは上述の制約に従わない場合、このライセンスおよびソフトウェアの使用のためのライセンスは予告なく自動的に終了します。かつ、BRADY は、その他の法律上の賠償金のほか、妥当な弁護士費用に関する請求権を与えられるものとします。

3. 限定保証:

BRADY は、ソフトウェアが納品された日付(納品書で確認される受取日)から180日間、通常の使用条件の下で、使用不可に至らしめるような重大なエラーなしで使用できるとを保証します。(万一お客様によりソフトウェアが返却された場合)本保証の下における BRADY の全責任とお客様への賠償について、エラーの補修あるいは指導を行うか、ソフトウェアを機能上同等のソフトウェアあるいはディスクと取り替えるか、あるいはソフトウェアのライセンス料を返済して契約を終了させるかの選択権は BRADY にあるものとします。

上記の明白な限定保証以外、BRADY は明白であれ、黙黙であれ、法的な制約であれ、あるいは、いかなる運送方法においても保証は行わず、BRADY は特にプログラムのオペレーションが中断されず、エラーが存在しないという限りの保証をすることを放棄します。地域によっては暗黙の保証を除外することはできず、上述の除外は当りまらぬ場合があります。この保証は特定の法律上の権利を付与するものです。地域により他の権利が生じる場合があります。

4. 責任の限界:

BRADY はプログラムまたは付属の文書を使用した結果発生する損害に関し、データの紛失、遺失利益、保証費用、または他の特別な、偶発的な、結果として生じる損害あるいは間接的な損害を含め、いかなる場合においても一切の責任を負いません。

目次

はじめに.....	4	スタイル.....	18
TLS 2200 プリンタの開箱.....	4	シリアル.....	19
梱包材料の保管.....	4	単位.....	19
バッテリーパックの将来における運送.....	4	セットアップメニュー.....	20
TLS 2200 プリンタ仕様.....	5	ラベルの印刷方法.....	21
物理的、環境上の特徴.....	5	印刷されたラベルのカット方法.....	21
認可.....	5	印字濃度の調整方法.....	21
簡易ラベル作成手順.....	6	剥離時間の設定方法.....	21
セットアップ.....	7	ラベルロールとリボンの再巻戻方法.....	22
バッテリーパックと充電器の使用.....	7	高度な機能.....	22
バッテリーパックの処分.....	7	連番の作り方.....	22
リボンカートリッジの装着方法.....	8	連番作成の一般的なガイドライン.....	23
ラベルロールの装着方法.....	8	レジェンドリストの作り方.....	24
テキストの入力と編集.....	9	新規リストの作成.....	25
テキスト文字の入力.....	9	リストの選択.....	26
液晶表示の見方とカーソルの移動.....	9	リストの印刷.....	26
カーソルと編集キー.....	10	リストの編集.....	27
テキスト編集.....	11	リストの追加.....	29
レジェンドを構成する時の <Enter> キーの使い方.....	11	リストの削除.....	29
デフォルトフォントサイズ.....	11	ターミナルブロックラベルの作り方.....	30
フォントサイズの変更.....	12	バーコードラベルの作り方.....	30
TLS2200 プリンタフォント.....	12	演習ガイド.....	33
テキスト編集のために.....	14	保守.....	55
ファンクションキー.....	15	アクセサリ部品リスト.....	56
セットアップメニュー.....	16	付録1：トラブルシューティングとエラーメッセージ.....	57
セットアップメニューオプション.....	16	付録2：用語解説.....	62
プリンタ.....	16	付録3：LabelMarkWinを使用したPCからの直接印刷.....	63
バーコード.....	17		
連絡紙.....	17		

BRADY が損害の可能性について通知を受けた場合も、この制約が適用されます。ライセンス料はこのリスクを含むものとして了解されたものとみなします。地域により偶発的または結果として生じる損害の責任に対する制約または除外を認めない場合があります、上述の制約が当てはまらない場合があります。

5. 一般条項:

製品が、1) GSA 契約の条件のもとに取得された場合、製品の使用、再生または開示は、該当する ADP スケジュール契約に述べられる条件に準じます。2) Dod 契約の条件のもとに取得された場合、製品の使用、再生または開示は、252.277-7013 条の下項 (c)(1)(ii) に述べられる条件に準じます。3) 民間の代理店契約の条件のもとに取得された場合、製品の使用、再生または開示は、52.277-19 条の (a) から (d) まで、かつ、本契約書に述べられる条件によるものとします。公にされていない権利については、米 国著作権法の下に権利を保留します。

本契約書はウィスコンシン州法律により管轄され、解釈されるものとします。本契約書は当事者間の完全なる合意であり、ソフトウェアと付属の文書に関する他のいかなる媒体あるいは広告に優先するものとします。契約の条文が無効であると考えられる場合においても、本契約の後文は有効なるものとしします。

著作権

本マニュアルは保留されたすべての著作権を有します。Brady Worldwide の事前の書面による同意なしに、本マニュアルの一部たりともコピーまたは再生してはなりません。

本書の作成にあたり、十分注意をいたしましたが、怠慢、事故、あるいは他の原因の結果として生じる欠落、あるいは省略により生じた損失、あるいは損害についていかなる当事者に対しても、Brady は責任を負いません。Brady は、さらに、ここに記述されたいかなる製品あるいはシステムの適用あるいは使用から発生する責任、あるいは本冊子の使用から生じる偶発的責任、あるいは重大な損害賠償金に対する責任のいずれも負いません。Brady は特定の目的のための市場性についての保証を放棄します。

Brady は、信頼、複製あるいはデザインを改善するため、ここに記述される製品あるいはシステムに対して、事前の通知なしに変更する権利を保留します。

Copyright Brady Worldwide, Inc. All Right Reserved

6555 West Good Hope Road

P.O. Box 2131

Milwaukee, WI 53201

Main Switchboard:

(800) 541-1686

(414) 358-6600

(800) 292-2289

FAX:

Sales/Customer Support: (800) 537-8791

はじめに

サイズは小さいが高性能! 熱転写技術の発明以来、これまで大は小を兼ねるという考えは変わっていません。プレイティは TLS2200 熱転写型ラベリングシステムを提供致します。この携帯型熱転写プリンタは高性能・高品質のプレイティプリンタ製品ラインの新しいリーダーです。たった 2.75 ポンド (1.25 kg) という重量は、片手で持てる唯一の熱転写バーコードラベルプリンタです。

今まで、TLS2200 熱転写型ラベリングシステムのようなプリンタはありませんでした。操作は印刷するラベルの種類を選び、はめ込むだけで、とても簡単です。あとは TLS2200 プリンタにすべて任せてください。その革新的なスマートセルテクノロジにより、TLS2200 プリンタが、使用されるラベルを認識し自動的に調整するため、セットアップに要する時間を大幅に節約します。お分かりのとおり、TLS2200 システムは携帯型で速度も速く、使いやすだけでなく、比類のない知的な手で持って操作できる最初の熱転写型プリンタです。大量のラベルを作る際に役立ち、非常に用途が広く、丈夫な道具です。

TLS2200 プリンタの開梱

プリンタをセットする前に、パッケージに次の項目があるか調べてください。

- プリンタ
- 携帯用ハードケース
- バッテリーパック
- バッテリー充電器
- 保証書
- クリーニング用カード
- コミュニケーション ケーブル
- ユーザー用マニュアル
- R6210 リボン
- サンブルラベルロール (PTL-19-423)

梱包材料の保管

TLS2200 熱転写型ラベリングシステムの梱包材料は将来プリンタとアクセサリーの運送のため保管しておいてください。

バッテリーパックの将来における運送

警告:

将来、TLS2200 熱転写型ラベリングシステムを運送する場合、必ずプリンタから再充電方式バッテリーパックを外してください。

プリンタとバッテリーパックを共に発送する場合、バッテリーパックをプリンタから外し、発送前に元の梱包材料に入れてください。

TLS2200 プリンタ仕様

- 熱転写型プリントメカニズム (203 dpi)
- 正確な印字位置のための光学式システム
- 弾性材使用のキーパッド
- 2行 x 16文字の液晶ディスプレイ
- フォント (Arial)
- 最高2インチまでのラベルサイズ (50mm)
- 印刷可能領域 - 1.81 インチ x 56 インチ (幅 x 高さ) (46 x 1424mm)
- 6つの異なったライナー幅で調節可能
- 一度の充電で500 枚のラベルを印刷
- 6カ月間の保証

物理的、環境上の特徴

仕様	米 国 単 位	メ ー ト ル 法
寸 法	12 x 3.75 x 4.5 in.	305 x 95 x 114 mm
重 量 (バッテリーパックを含む)	2.75 lb.	1.25 kg
環 境	操 作	保 管
温 度 *	40 - 105°F (4 - 40°C)	0 - 140°F (-18 - 60°C)
相対湿度	20% - 95% (結露なし)	10% - 80% (結露なし)

* TLS2200 熱転写型ラベリングシステムを直射日光にさらさないでください。

認 可

PCC クラス A 認可取得
UL/CUL によってリストされたバッテリー充電器

簡易ラベル作成手順

下記にラベルを作るために必要な手順のすべてを示します。手順の詳細についてはマニュアル本文を読んでください。ここにリストされていない他の機能についても同じです。

手順は下記のとおりです。

1. 充電済バッテリーパックを取り付けてください。
2. リボンカートリッジを取り付けてください。
3. 御使用になるタイプとサイズのラベルロールを取り付けてください。
4. 電源を「On」にしてください。
5. ラベルに打ちたいテキストをタイプしてください。テキストの改行には <Enter> キーを押してください。
6. 印刷したい内容通りにテキストを編集してください。
7. <Print> キーを押して、ラベルを印刷します。
8. 終了したラベルを取り除くには、組込カッターを使ってください。

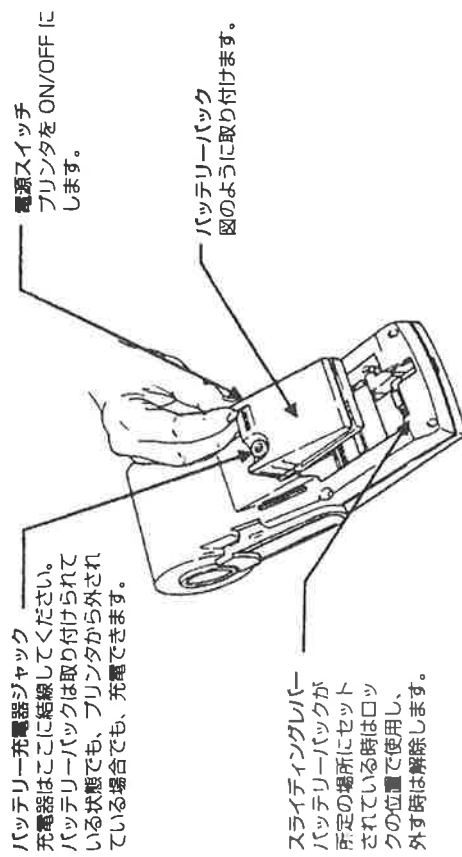
注：以降文中、<Func>+<Xxxx>は、キーボード最下段の「Func」のキーと、各キーの右上に表示された黄色の「Xxxx」のキーを同時に押すことを意味します。

セットアップ

バッテリーパック/充電器の結線、印刷リボンカートリッジの取り付け方、ラベルのロールの取り付け方については、次の記述を読んでください。

バッテリーパックと充電器の使用

TL S2200 熱転写型ラベリングシステムは、バッテリーパックとバッテリー充電器と一結に出荷されます。下記に示すように電力供給のために、この装置を使ってください：



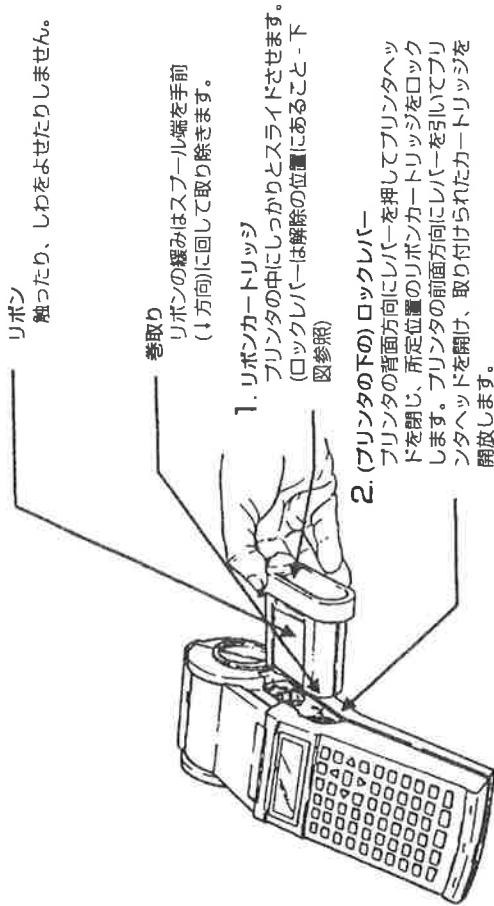
注意： バッテリーパックは未充電の状態では出荷されます。プリンタをバッテリー電源のみで作動させるには、バッテリーを最低5時間充電してください。プリンタが ON または OFF の状態でも、バッテリーパックに充電できます。充電器にプラグが差し込まれている間、バッテリーパックは充電されています。
バッテリーパックが充電されたら、プラグを抜いて、バッテリー電源のみでプリンタを操作してください。
バッテリーパックが完全に放電した場合、充電器に結線しても、プリンタを作動させるのに十分な電力が供給されません。継続的に使用する前に、バッテリーを再充電してください。

バッテリーパックの処分

ニッカドバッテリーパックは有毒元素であるカドミウムを含んでいます。バッテリーパックは危険な毒性廃棄物であるため、家庭あるいはオフィスのごみ箱に廃棄しないでください。バッテリーの寿命(1.3年)が終わった場合、適切に廃棄処分するか、リサイクルするかを選択については、地元の関係機関にお問い合わせください。

リボンカートリッジの装着方法

下に示すように、リボンカートリッジを取り付けます



ラベルロールの装着方法

次の手順に従って、プリンタにラベルロールをセットします。

7. **ガイドスロット**
ラベルロールの先端を、黒色のプラスチックガイドスロットを通して、抵抗を感じるまで送ります。
8. **<Feed> キー**
キーを押してプリントヘッドを通してラベルを送ります。
9. **ラベルの先端が取り出され、ラベルロールが受け台にしっかりと挟み込まれていることを確認します。**
10. **<Enter> キー**を押し、"ERROR No Label Present" (ラベルが切れたためのエラー) を示すディスプレイのメッセージをクリアします。
11. **3. ロールドア**
端を持ち上げて、開きます。
12. **4. ガイドプレートレバー**
レバーを押し込み、スライドさせ、ラベルロールの幅に合わせます。
13. **1. リボンカートリッジ**
カートリッジがセットされ、ロックされていることを確認します。

テキストの入力と編集

このセクションでは、ラベルのテキストを入力して編集するためのキーボードの使い方を説明します。

テキスト文字の入力

- **アルファベット文字:** 小文字 (a-z) は該当するキーをタイプしてください。語と語の間スペースは <Space> キーを押してください。大文字は <Shift> キーを押したまま該当するキーをタイプしてください。続けて多くの大文字をタイプする場合は <Func> + <Cap Lock> キーを押して、Caps Lock 機能をオンにしてください。
- **数字:** 入力したい番号 (0-9) のキーを押して下さい。
- **第2選択文字:** それぞれのテキストのキーの右上に黄色の第2選択文字が表示されます。最初に <Func> キーを押し、次に入力したい第2選択キーを打ってタイプしてください。
- **アクセント文字:** 母音文字の上にアクセントマークを付けたい時、まずマークをタイプし、次に文字をタイプします (注: ~のマークは、A/aまたはN/nを使う場合のみ使えます)。

液晶表示の見方とカーソルの移動

文字をタイプすると、カーソルの位置に液晶ディスプレイ (LCD) に文字が現われます。取り付けたラベルサイズと選択したフォントサイズによって異なりますが、1枚のラベルの上には最高23行、1行には50文字が打てます。カーソルは現在タイプしている位置、または編集している位置を示しています。

液晶ディスプレイにはテキスト2行と各行毎に16文字が表示されます。1行目には常にフォントと文字位置情報を表示する STATUS BAR が表示されます。(下図参照)

ステータスバー

ラベルフォーマット
(コンポーネント、ワイヤ)

レジエントタイプ
(テキスト、バーコード)



フォントサイズ
(1-19)

1行に16以上の文字を入力した場合、ラベル全体は印刷が終わるまで見る事ができません。カーソルの移動は矢印キーで操作します。カーソルが16文字以上に渡り移動すると、スクリーンがスクロールし、ラベル行の残りのテキストを表示します。



ステータスバーはカーソルが16文字目の位置にあることを示しています。



テキスト入力が続けると、画面がスクロールし、残りのテキストを入力できます。
(「M」の下線はカーソルが31の位置にある)

テキスト編集

プリンタをONにする度に、プリンタ初期化のための一連の作動が行われ、Text Editor が現れます。この画面が TLS2200 システムを使って行う処理の「ホームベース」となります。前に定義されたパラメータを変更するため、テキスト編集画面からセットアップメニューを呼び出し、プリンタのソフトウェア機能にアクセスしてください。セットアップメニューオプションについての立ち上げ情報については16ページを参照してください。

カーソルと編集キー

	<ul style="list-style-type: none"> ●画面選択を開始 ●レジェンドを構成する場合に、行文字の目に見えない改行コードを挿入し、次の行にカーソルを下げます。 ●ディスプレイからシステムメッセージをクリアします。
Enter	<ul style="list-style-type: none"> カーソルを1文字右に動かします。カーソルがディスプレイの右端の位置にある場合、ディスプレイは左方向に1文字スクロールされ、カーソルは右端の位置に留まります。 カーソルを1文字左に動かします。カーソルがディスプレイの左端の位置にある場合、ディスプレイは右方向に1文字スクロールされ、カーソルが左端の位置に留まります。 テキストの前の行を表示します。(該当する場合) テキストの次の行を表示します。(該当する場合) 次の語の先頭にスキップします。 前の語の先頭にスキップします。
Delete	<ul style="list-style-type: none"> ●テキスト編集時、カーソル位置で文字を消去する。 ●セットアップメニューツリーで1レベル前に戻る ●マーカ印刷を終える。
Shift + Delete	バックスペースして左の文字を削除します。カーソルが行の最初の文字位置にある場合、改行は消去され、その行のテキストは前の行に繋がります。
Legend Clear	現在の行のすべての文字をクリアします。
Shift + Legend Clear	ラベル上のすべての文字をクリアします。
Shift + Form Clear	ラベル上のすべての文字と行を消去し、フォントサイズが初期設定に戻ります。
Func + Space	大文字と小文字間の変換をします。 注意: 本体を OFF にしても、現在の Cap Lock の状態は維持されます。
Space Bar	カーソルを1つ右に移動します。現在のカーソルの位置にスペースを1つ挿入します。

ラベルパラメータをセットした後、レジェンドにテキストを入力できます。

前述のように、液晶ディスプレイは1回につきテキスト1行と16文字の最大範囲を表示します。行が16以上の文字から構成される場合、追加の文字が入力された場合でも、レビューできるように、液晶ディスプレイは自動的に右方向にシフトします。文字はテキスト編集画面が INSERT モードのときだけ入力できます。

レジェンドを構成するときの <Enter> キーの使い方

レジェンドのテキストの最後の行を入力した後で、<Enter>キーを押す必要はありません。<Enter> キーを押すと、プリンタはテキストに新しい1行のスペースを確保します (カーソルが次の行に進むことに注目してください)。文字がこの新しい行に入力されない場合も、プリンタは空白行が有効であると想定します。結果として、マーカが空白行で印刷されるので、レジェンドが中心を外れる場合があります。

<Enter> キーが行の終わりで押されると、行の終わりを示す非表示文字がカーソルの位置に挿入されます。カーソルの後に入力された文字は次の行に入力されます。「行の終わり」文字は、カーソルを次の行の最初の文字位置に置いて、<Shift> + <Delete> キーを押すことにより消去できます。これは改行を削除し、2番目の行のテキストを上に戻かし、テキストを最初の行に置きます。テキストの残りの行は1行上に動きます。

注意: <Shift> + <Delete> コマンドは改行を削除し、現在の行のすべての文字が前の行に入る場合にだけ、前の行にテキストを置きます。テキストが入らない場合は、改行は削除されず、すべてのテキストは現在の行に残ります。

デフォルトフォントサイズ

TLS2200 熱転写型ラベリングシステムを使って、ラベル上のテキストの各行のフォントサイズを選択できます(行ごとに1つのサイズ)。フォントサイズは常に(液晶ディスプレイの最初の行にある) STATUS BAR に表示されます。

ラベルロールがセットされ、本体が ON にされると、TLS2200 System はラベルロールのセルに内蔵されたラベルサイズ情報を読み込みます。この情報は自動的に最初のフォントサイズをラベルにセットするために使われます。このデフォルト設定を使用することによって、最適なテキストサイズを簡単に設定できます。ラベル幅が 0.5 インチ (12.7mm) 以下の場合、フォントは4文字がラベル行に合う最大サイズをデフォルトとします。ラベル幅が 0.5 インチ (12.7mm) またはそれ以上の場合は、フォントは8文字がラベル行に合う最大サイズをデフォルトとします。

ラベル幅	デフォルトフォントサイズ
< 0.5in. (12.7mm)	1行に4文字が入るための最大サイズ
≥ 0.5in. (12.7mm)	1行に8文字が入るための最大サイズ

一度ある行でフォントがセットされると、フォントサイズは同じサイズで次の新しい行に続きます (たとえば、1行目のサイズが8でセットされた場合、<Enter> キーを押すと2行目からのサイズはそのまま8のサイズとなります)。フォントサイズはそれを変えるまでは選択したサイズのままであることに注意してください。

フォントサイズの変更

テキスト入力または編集時には、いつでもテキスト編集画面上に示されたラベル行のフォントサイズを変更できます。これは、行単位の場合のみ可能です。ある行のフォントサイズを変える場合、<Shift +▲> または <Shift +▼> キーを押して、フォントサイズを大きくしたり、小さくしてください。

フォントサイズは1 (4ポイント) から19 (72ポイント) まで選択できます。特定のラベル行の最大フォントサイズはいくつかの要因によって制限されます。その要因にはラベルサイズ、ラベル行に入力されたテキスト文字数、ラベル上に入力されたテキストの行数と他のラベル行用として選ばれたフォントサイズ等があります。

TLS2200 プリンタフォント

フォント数	ポイントサイズ	印刷サンプル
1	4	BRADY 12345
2	5	BRADY 12345
3	6	BRADY 12345
4	7	BRADY 12345
5	9	BRADY 12345
6	10	BRADY 12345
7	11	BRADY 12345
8	13	BRADY 12345
9	14	BRADY 12345
10	17	BRADY 12345
11	20	BRADY 12345

フォント数	ポイントサイズ	印刷サンプル
12	23	BRADY 12345
13	26	BRADY 12345
14	28	BRADY 12345
15	36	BRADY 123
16	45	BRADY 1
17	51	BRADY
18	56	BRADY
19	72	BRAD

テキスト編集のために:

- ラベル行にあまりに多くの文字を入力した場合、"Reduce Type Size" (タイプサイズを小さくしてください) のメッセージがディスプレイに点滅します。もっと多くの文字を行に入力したい場合、<Shift>+<▼>を入力してフォントサイズを小さくしてください。
- 複数レジェンドのテキスト内でカーソルを上下左右に動かす場合、三角カーソルキーを使用してください。
- 一度特定の行にフォントサイズをセットした場合、ユーザーによって変更されるまで新しくセットしたままのサイズとなります。
- 回転の数値を変更すると、次のことが起こります:
 - ラベル上のすべての文字と行が削除されます。
 - カーソルが1行目の最初の文字に移動します。
 - フォントはラベルのデフォルトサイズにセットされます。
 テキストが削除されないように、レジェンドを入力する前に、常に回転の数値を入力してください。
- ラベルに限界より多くの行を入力しようとする、<Enter> キーを押してもカーソルは次のラベル行に移動しません。
- 本体を OFF にすると、テキスト編集に入力されたレジェンドは保存されます。電源を再度ONにすると、レジェンドはディスプレイに再表示されます。この規則は本体がOFFの状態にある時、本体内に装着されたラベルローラの部品番号が変更されない場合にだけ、あてはまります。TLS2200 Systemの電源が ON になった時にラベルサイズの変更を検出した場合、または、本体が ON の時に異なるサイズのラベルがセットされた場合、ディスプレイのテキストがクリアされ、デフォルトフォントサイズがセットされ、その前に保存されたレジェンドは消去されます。
- <Legend Clear> を押すと、現在表示されたラベル行からすべての文字がクリアされ、フォントはそのままのサイズとなります。
- <Shift>+<Legend Clear>を押すと、ラベル上のすべての文字をクリアしますが、各行のフォントサイズの設定は残ります。
- <Shift> + <Form Clear> を押すと、ラベル上のすべての文字と行が削除され、フォントサイズがデフォルト値にリセットされ、1行目の最初の文字にカーソルが移動します。
- 次の処置のいずれかを行っても、セットアップメニューオプション (回転、水平、垂直方向の調整等) の数値設定は変わらずそのままとなります:
 - <Legend Clear>
 - <Shift> + <Legend Clear>
 - <Shift> + <Form Clear>
 - Turn the unit OFF (電源の切断)
 異なるラベルサイズの新しいラベルローラが本体にセットされた場合には、数値はデフォルト値に変わります。
- すでに入力されたテキストは "Text" から "Barcode" モードに変換でき、逆もまた同様です。変換されたバーコードまたはテキストのサイズがラベルに入らない場合には、ラベルを印刷しようとする、"Reduce Type Size" (タイプサイズを小さくしてください) のメッセージが表示されます。その場合、変換が行われた行にスクロールし、(テキストの場合)フォントサイズ(バーコードの場合)高さを小さくし、再び印刷してください。

ファンクションキー

各ファンクションキーの使用は下記のチャートで説明します:

Feed	次のラベルに進みます。
Print	レジェンドを印刷します。
Multi Print	レジェンドの複数(1-250)コピーを印刷します。
Serial	カーソル位置の文字からレジェンドに連番を打ち始めます。
Exit	画面を Serial (連番)、Multi Print (マルチ印刷)、List Menu (リストメニュー) または Setup Menu (セットアップメニュー) 画面からテキスト編集画面に戻します。
Peel	ラベルを剥離の位置に進めます。 注意: PSPT ラベルローラ (PermaSleeve) ではこの機能を使えません。
BarCode	レジェンドタイプの条件 (テキスト、バーコード) を切り替えます。
Shift+▲	フォントサイズを大きくします。
Shift+▼	フォントサイズを小さくします。
Shift+Wire(0)	ラベルフォーマット (コンポーネント、ワイヤ) を切り替えます。
Setup	セットアップメニューを表示します。
Save	現在表示されているレジェンドをリストに保存します。
Recall	リストに保存されたレジェンドを呼び出します。
List	リストメニューオプションを表示します。
Form	予備
Form Clear	予備

セットアップメニュー

Setup Menu (セットアップメニュー) を選択すると、ラベルのフォーマットまたは印刷のデフォルトをセットまたは調整することができます。下記の手順で、セットアップメニュー機能のいずれにもアクセスできます。

1. <Func> + <Setup> キーを押すと、セットアップメニューにアクセスします。セットアップメニューは液晶ディスプレイに表示されます。
2. <▲> キーと <▼> キーを使って、メニューを選択します。カーソルは現在選択されたオプションを示します。

注意: 液晶ディスプレイの右側の下方を指す矢印は、現在ハイライトされている選択の他に利用できる選択があることを示します。 <▲> は現在ハイライトされている選択の上に利用できる選択があることを示します。同時に表示される上下を示す矢印は、現在ハイライトされている選択上部と下部に別の選択肢があることを示しています。

3. <Enter> キーを押すと、サブメニュー選択にアクセスします。
4. <▲> キーと <▼> キーを使って、カーソルを移動させサブメニューを選択すると、カーソルは現在選択されたオプションを示します。
5. <Enter> キーを押します。 <▲> キーと <▼> キーを使って、目的のメニューを選択し、変更を保存するために <Enter> を押します。変更を保存しないで終了するには、<Exit> キー (テキスト編集画面に戻る) または <Delete> キー (メニューツリーで1つ前のレベルに戻る) のどちらかを押します。

セットアップメニューオプション

セットアップメニューには、ラベルのフォーマット作成と印刷のための8つのサブメニューオプションがあり、このオプションがフォーマットを作成する多くの方法を示しています。セットアップメニューツリーについては20ページを参照してください。

プリンタ(Printer)

プリンタメニューには次のユーザーオプションがあります:

* Top Margin Adj	ラベルの頂部から縦方向の最初の印刷位置を調整します。
* Left Margin Adj	ラベルの左端から水平方向の最初の印刷位置を調整します。
** Cut Feed Adj	ラベル間の縦のカット位置を調整します。
Peel Time	カット位置に戻る前に、何秒ラベルを剥離する位置に止まるか決定します。2から9秒までの範囲。デフォルト = 5秒。 注意: Brady Sleeve と Perma Sleeve ラベル部品には剥離時間オプションはありません。
Burn Time	ラベル上の印刷濃度を決定します。設定範囲は -5 (最も薄い) から +5 (最も濃い) まで。デフォルト = 0
Clean Printer	一連のプリンタクリーニング手順を実行します(本体と一緒に梱包されているクリーニング用カードを使用)。

* 設定値範囲は -0.625 から +1.375mm まで。

** 設定値範囲は -1mm から +1mm まで。 <▲> と <▼> キーは 0.125mm (1ドット) 毎に値を増加/減少する。

バーコード(Barcode)
バーコードメニューには次のユーザーオプションがあります:

Bar Height	コード39バーコードの高さを決めます。設定範囲は1から26mmまで。デフォルト = 1。細いバー幅 = 2ドット (25mm)。バーコード比 = 2対1
Human Readable	バーコードをヒューマンリーダブルと一緒に印刷するかどうか決定します。ON と OFF を切り替えます。フォントサイズ = 2 (5ポイント) ~ 9 (14ポイント)。デフォルト = OFF。

連続紙(Continuous)

連続紙メニューは連続用紙ラベルの印刷設定を可能にします。

注: 'Continuous' のサブメニューは、連続紙がセットされていないと表示されません。'Continuous' のサブメニューには、'Terminal Block'、'Banner'、'Fixed Length' があります。

ターミナルブロックの設定

'Terminal Block' で <Enter> を押し、'Term Repeat' の設定ができます。'Term Repeat' はターミナルブロックの繰り返し値を決めます。設定範囲は 2mm から 46mm まで。 <▲> と <▼> キーで 0.125mm 毎増 (1ドット) 毎に値を増加/減少します。 <Shift> + <▲>、 <Shift> + <▼> で 1mm 毎増 (8ドット) 毎に値を増加/減少します。

バーナーの印字

TLS2200 を使用してバーナーが作成できるようにしました。バーナーは配管や電圧表示等を含む、様々な工業用途に使用できます。バーナーを作成するには以下の手順に従います。

1. <Func> + <Setup> キーを押し Setup メニューに入ります。
2. <▼> キーを2度押し「Continuous」を選択し、<Enter> を押します。
3. <▲> キーまたは <▼> キーを必要だけ押し「Banner」を選択し、<Enter> を押します。
4. <▲> キーまたは <▼> キーを押し印字方向 (Horizontal=横書き、Vertical=縦書き) を選択し、<Enter> を押します。
5. <Func> + <Exit> を押し、テキスト編集画面に戻ります。
6. バーナー用の必要なテキストを入力し、ラベルを印字します。

バーナーの向き

バーナーは縦書き、横書きどちらでも印字できます。

注: 縦書きの場合は1行のみ入力可能です。

デフォルトフォントサイズ

連続用紙印字 (バーナー) では、デフォルトのフォントサイズは、横書きにした時使用するバーナーラベルに印字できる、最大のフォントサイズが設定されます。

バナーの長さ

バナーの長さは、50文字を最大として、入力された文字数に応じて自動的に決められます。

固定長ラベルの印字

TLS2200を使用して固定長ラベルの印字ができます。印字できる固定長の長さは、26mm から 312mm の範囲です。

注:入力された固定長の長さにかかわらず、1行に入力できる最大文字数は50です。

固定長ラベルの印刷時には、水平方向の印字位置合わせオプション (H Justify) が有効です。水平方向位置合わせオプションは、左寄せ(Left)、中央合わせ(Center)、右寄せ(Right)が選択できます。

固定長ラベルの印字手順は以下の通りです。

1. <Func>+<Setup>キーを押し、Setupメニューに入ります。
2. <▼>キーを2度押し「Continuous」を選択し、<Enter>を押しします。
3. <▲>キーまたは<▼>キーを必要に応じて押して「Fixed Length」を選択し、<Enter>を押しします。
4. <▲>キーまたは<▼>キーを押してラベル長を選択し、<Enter>を押しします。<▲>を1回押すたびに13mm ごとに値が変わります。<Shift>キーと同時に<▲><▼>キーを押すと、26mmごとに値が変わります。
5. <Func>+<Exit>を押し、テキスト編集画面に戻ります。
6. 固定長用の必要なテキストを入力し、ラベルを印字します。

スタイル(Style)

スタイルメニューには次のユーザーオプションがあります:

Rotation	角度を次の4つの角度の内の1つにセットします。0°、90°、180°、270°。 デフォルト角度は本体に装着されたラベルロールで決まります。 注意: 回転用オプションは BradySleeve、PermaSleeve、フレ印刷のラベルには適用されません(デフォルトは0)。また、回転値を変更するとすべてのデータが初期化されますので、データ入力前に選択してください。
H Justify	レジエンドの水平方向の揃えをセットします。オプションには、左、中央と右があります。デフォルト設定は本体に装着されたラベルロールによって決定されます。
V Justify	レジエンドの垂直方向の調整をセットします。オプションには、上部、中央、下部があります。デフォルト設定は本体に装着されたラベルロールによって決定されます。
Format	ラベルフォーマットを設定します。オプションにはコンポーネント、ワイヤがあります。コンポーネントラベルフォーマットは、次のマーカに進む前に、レジエンドの行をすべて1回だけ印刷するように設計されています。ワイヤフォーマットは、マーカにある使用可能な行数を考慮した上で、レジエンドのテキストをマーカ一長で、自動的にできるだけ多くの回数を繰り返し印刷するように設計されています。デフォルト = コンポーネント。

シリアル(Serial)

シリアルメニューには次のユーザーオプションがあります

Standard	シリアルナンバーについて、入力された文字タイプに基づいて、デフォルト設定を10進数(0-9)またはアルファベット(A-Z、a-z)に設定。
Octal	シリアル番号を8進数にデフォルト設定。0-7の数の連番。

言語(Language)

言語メニューには次のユーザーオプションがあります。

英語、ポルトガル語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、フランス語、オランダ語

単位(Limits)

単位メニューでは計測単位を次のセットアップメニューオプションにセットできます:

(Vert Align, Horiz Align, Vert Cut Align, Term Repeat, Bar Height, Fixed Length)に有効)

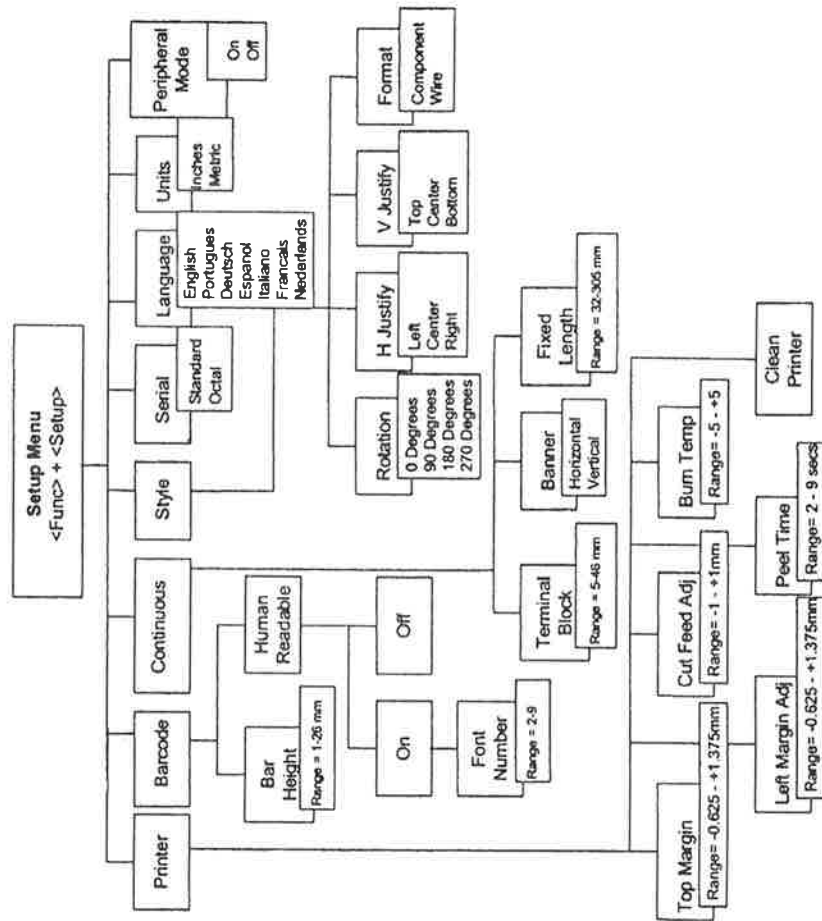
Inches:	計測単位をインチで表示。
Metric:	計測単位をミリメートルで表示。

ペリフェラルモード(Peripheral Mode)

ペリフェラルモードを選択すると、PCとの通信が可能になります。

詳細に関しては、付録3及び付録4を参照してください。

ペリフェラルモードから抜けるには、他のいずれかのキーを押してください。



メニューの使い方

- ・<▲>と<▼>を使用し、メニューの選択、または数値の増減を行います。
 - ・<Shift>+<▲>と<Shift>+<▼>で、数値の増減幅を増やせます。
 - ・<Enter>を押して、選択したオプションメニューを保存します。
 - ・<Delete>または<Func>+<Exit>で保存せずにメニューから抜けます。
- (<Delete>はメニューツリーのひとつ上に、<Func>+<Exit>は直接キースト編集画面に戻ります。)

ラベルの印刷方法

- ラベルの内容を印刷するには、<Print> キーを押してください。
- 複数のラベルを印刷するには、<Func> + <Multi Print> を押してください。画面に 'No. of copies?' (何枚印刷しますか?) と表示されます。1-250の数を入力し、<Enter> キーを押してください。

注意: 印刷しないで、1枚のラベルを送りたい場合には、<Feed> キーを押してください。

印刷されたラベルのカット方法

ラベルがプリントアウトされたら、ラベルを取り出すために内蔵カッターを使用します。カッターメカニズムは固定された刃と可動の刃から構成されています。ラベルの間でカットするためには、本体左にあるレバーを使ってください。

注意: Brady Sleeve ラベルロールでは、決してカッターを使わないでください。プリンタは、常に最後に印刷された1枚をミシン目でカットできる位置に送ります。

印字濃度の調整方法

印刷されるレジエントを濃くまたは薄くするのに、印字濃度設定で調整します。TLS2200 プリンタは、本体に搭載した器材に合う濃度を自動的に選択するため、調整が必要となるケースは稀です。

注意: 本体の電源が切られるたびに、印字濃度は自動的に0のデフォルト設定にリセットされます。印字濃度の調整の詳細については15ページに書かれたセットアップメニューセクションを参照してください。

剥離時間の設定方法

ラベルの印刷が終わると、TLS2200 プリンタは最後に印刷されたラベルをカット位置に送ります。最後に印刷されたラベルをカットせずにライナーからはがしたい場合には、Peel (剥離) 機能を使います。キーパッドの <Func> + <Peel> を押すと、本体は最後に印刷されたラベルを剥離する位置に進めます。デフォルトセット値によって、カット位置に戻る前に2秒から9秒の間、ラベルをがす時間があります。ラベルの剥離時間設定方法の詳細については15ページに書かれたセットアップメニューセクションを参照してください。

注意: 剥離時間設定のオプションは BradySleeve と PermaSleeve ラベル部品にはありません。印刷後、BradySleeve では手切り位置に送られ、PermaSleeve ではカット位置に送られます。

ラベルロールとリボンの再装填方法

印刷中に、ラベルロールのラベルがなくなったり、TLS2200 System は印刷を止め、次のメッセージが表示されます：

"Error Out of Label" (ラベルを使い切った時のエラー)

ラベルロールが終了した場合、印刷行程は終わります。印刷予定の残ったレジエントは印刷されません。印刷を続けるためには、下記の手順に従ってください。

1. カッターを使って、すでに印刷したラベルをカットする。
2. プリント前面に向かってリボンカートリッジロックレバーを引いて、プリントヘッドを開けます。
3. プリンタの上部から残ったラベルを引き抜きます。
4. 新しいラベルロールを取り付けます。手順については、8ページの「ラベルロールの装着方法」を参照してください。
5. 前の印刷が終わったところから継続するために、新しい印刷行程を始めます。

印刷中に、リボンがなくなったり、TLS 2200 システムは印刷を止めて、次のメッセージを表示します：

"Error Out of Ribbon" (リボンが切れたためのエラー)

ラベルロールの時と同じように、リボンカートリッジからリボンがなくなったり、印刷行程は中止されます。印刷途中のレジエントは印刷されます。印刷を続けるためには新しいリボンカートリッジを差し込んで、前回終了したところから印刷行程を続けるために、初期設定を直してください。

注意：ラベルロールまたはリボンカートリッジがなくなったり、液晶ディスプレイに入力されたレジエントは表示されたままになります。これでテキストを消去しないで、ロール/リボンの取り換えができます。但し、新しいラベルロールのラベルサイズが交換する前のサイズと違う場合には、ディスプレイはクリアされます。

高度な機能

このセクションでは、高度なユーザーオプションについて説明します。連番の作り方、レジエントリストの作成、ターミナルプロックとバーコードラベルの手順について説明します。

連番の作り方

TLS2200 System で作成するレジエントは、数字の連番でも、アルファベットのカウンタアップでも、印刷できます。レジエントで数字または文字を連番にすると、1つの数字または1文字、またはその両方の数字または文字を1つずつ増やし、連番とします。

TLS2200 System では異なった二通りの連番を作成することができます。

Standard	入力された文字に従って、連続する数字を10進数(0-9)またはアルファベット(A-Z, a-z)にデフォルト設定します。
Octal	連続する数字を8進数とします。0-7の数の連番をデフォルトとします。

連番のタイプは、Setup Menu から選択した標準または8進数をデフォルトとします。連番設定方法の詳細については17ページに書かれたセットアップメニューセクションを参照してください。連番データを含むラベル作成については、下記の手順に従ってください：

1. 連番しようとするテキストを適当なラベル行に入力します。
2. <◀> キーを使ってカーソルを連番しようとするレジエントの最後の文字の上に移動します。
3. キーボードの <Func> + <Serial> を押します。"No. to Serial?" (連番は何番までですか?) と表示されその部分にプロンプトが出て何番までカウントするかの入力待ちとなります。
4. 終了したい連番の数字を入力して、<Enter> を押します。"No. of Copies?" (何枚印刷しますか?) と表示され、同じ番号で印刷したいラベルのコピー枚数を要求されます。
5. コピー枚数の数字を入力し、<Enter> または <Print> を押します。連番しようとするマーカが印刷されます。

連番作成の一般的なガイドライン

- 小文字と大文字の両方も連番できます。
- 連番は増加のみ可能で、減少はできません。
- 連番のタイプはラベルにつき1種類 (標準または8進数) だけ、選択できます
- 連番しようとするテキストはラベルにつき1行の中で一回の連続に限定されます。
- <Func> + <Serial> キーを押すと、プリンタはカーソルがハイライトしている文字を起点として連番を開始します。数字または文字が最高の数字または最後の文字 (標準型の場合は 9、z または Z; 8進数型の場合は7) に達すると、左桁が増分され、一番右の桁は最小の値 (標準型の場合は0、a または A; 8進数型の場合は0) に戻ります。
- 連番しようとする数字または文字が、その最大の数字または最後の文字に達しても、そのすぐ左にある文字が連番にない文字 (例えば、スペース、アクセントの文字、またはシンボル) の場合、連番パターンサイクルは、右端の連番文字から増加サイクルを繰り返し始めます。
- 一連の連続する数字または文字の印刷後、エディターは連番パターンにおける論理的な次の文字/数字を示します (例えば、1から5までが印刷され、印刷行程の終了後に、エディターは6を表示します)。